■ 川本喜八郎 プロフィール

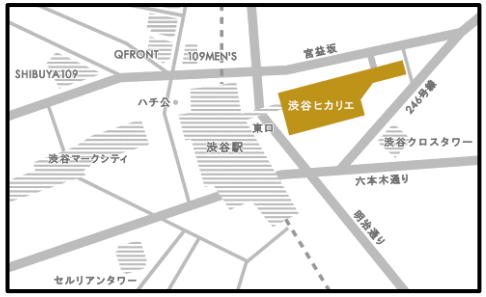
1925年：1月11日渋谷区千駄ヶ谷に生まれる
1946年：東宝映画撮影所美術部勤務
1951年：飯沢匡に見いだされ人形絵本、ＣＭ製作などを始める
1963年：チェコ・プラハに留学、人形アニメの巨匠イジィ・トルンカに師事
1968年：「花折り」をはじめ、「鬼」（72）、「道成寺」（76）、「火宅」（79）など、人形アニメーション映画を発表

1982年：NHK人形劇「三国志」人形美術担当
1988年：日中合作人形アニメーション「不射之射」監督
1990年：日本チェコ合作人形アニメーション「いばら姫またはねむり姫」監督
1993年：ＮＨＫ人形歴史スペクタクル「平家物語」人形美術担当
1995年：日本アニメーション協会会長就任
2003年：連句アニメーション「冬の日」監督
2005年：人形アニメーション「死者の書」監督
2007年：長野県飯田市に川本喜八郎人形美術館オープン、館長就任
2010年：8月23日逝去
2012年：6月4日渋谷ヒカリエ８階川本喜八郎人形ギャラリーオープン

■ 川本喜八郎 人形ギャラリー

川本喜八郎（1925～2010）は、渋谷区千駄ヶ谷に生まれ育ち、人形美術家・アニメーション 作家としてＮＨＫ人形劇「三国志」、「平家物語」などを手掛け、世界的にも活躍し、多くのファン を魅了してきました。渋谷区では芸術や文化を、気軽に身近で楽しむアートスポットとして、川本喜八郎の生み出した人形をテーマごとに常設展示しています。

◆入 館 料　無料　　◆開館時間 午前11時～午後7時
◆休 館 日　無休（ただし年末年始、展示入替期間は除く）
◆所 在 地　渋谷区渋谷二丁目21-1　渋谷ヒカリエ8階
◆アクセス
　東急東横線・田園都市線、
　東京メトロ半蔵門線・副都心線
　「渋谷駅」15番出口直結。
　ＪＲ線、東京メトロ銀座線、
　京王井の頭線「渋谷駅」と
　2Ｆ連絡通路で直結。
◆問　渋谷区文化振興課交流推進係
　☎03-3463-1142 ※平日8：30～17：15



編集・発行　渋谷区文化振興課　平成29年12月10日

瓦版 No.10

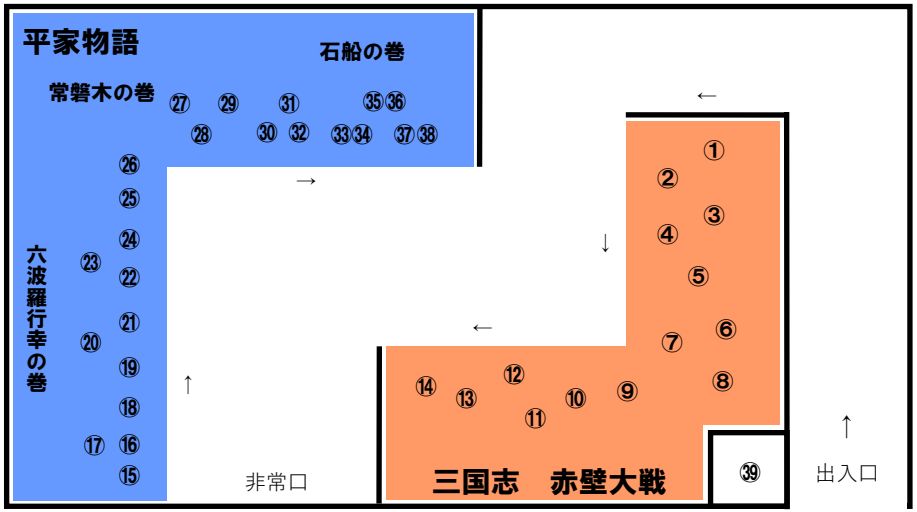
Puppet Master

川本喜八郎 人形ギャラリー

三国志・平家物語

渋谷区 Shibuya City

第11回常設展　展示内容（平成29年12月10日～）



三国志

赤壁大戦

「三国志」最大の決戦として名高い「赤壁の戦い」(建安13年、208)は、中国一の大河長江の流れを隔てて、曹操と孫権・劉備の連合軍が対峙する図式となった。孫権軍の若き司令官周瑜は曹操との開戦を決意し、黄蓋の計略を用いて曹操に偽って降伏させ、その油断をついて曹操軍の大船団を火攻めにし、敗退させた。曹操の天下統一の野望はここに潰え、歴史の歯車は、三国鼎立の時代へと回転していく。曹操は赤壁で大敗したが、その実情は、南方の風土に慣れぬ兵士の間で蔓延した疫病であるともいわれる。また、曹操軍は名だたる武将を誰一人戦死させておらず、軍の中核をなす虎の子の騎兵隊を温存して北方に帰還している。曹操は赤壁の痛手から意外に早く立ち直り、その後も終始優位に戦いを進めていく。

①蔡中（さいちゅう）　②程昱仲徳（ていいくちゅうとく）　③蔡瑁（さいぼう）　④蒋幹子翼（しょうかんしよく）　⑤曹操孟徳（そうそうもうとく）

⑥闞沢徳潤（かんたくとくじゅん）　⑦黄蓋公覆（こうがいこうふく）　⑧徐盛文嚮（じょせいぶんきょう）

⑨小喬（しょうきょう）　⑩周瑜公瑾（しゅうゆこうきん）　⑪孫権仲謀（そんけんちゅうぼう）　⑫諸葛亮孔明（しょかつりょうこうめい）　⑬龐統士元（ほうとうしげん）　⑭魯粛子敬（ろしゅくしけい）

展示アドバイザーのひとくちメモ

「人形劇 三国志」では曹操は敵役・悪役として描かれていますが、実は川本喜八郎先生は曹操が大好きでした。詩人でもあった曹操が詠んだ詩「老驥伏櫪 志在千里 烈士暮年 壮心不已」（訳：老いた名馬は馬小屋に繋がれても、千里を走る気でいる。志の高い人は晩年になっても、意気盛んな心は抑えられない。）が特にお気に入りでした。お亡くなりになる直前まで三国志の人形制作をされていた先生の尽きることのない創作意欲を表している詩だと、つくづく思います。

入り口にアンケート用紙を設置しております。皆さまのご意見、ご感想などお聞かせください。

平家物語

第一部　青雲　六波羅行幸の巻

保元の乱で戦火を交えたわずか3年後、平治の乱が勃発した（平治元年1159）。平清盛を味方につけて過酷な政治を行う信西に対して、その排斥をたくらむ公卿藤原信頼が、出世がままならず不遇をかこっていた源義朝を味方に引き入れ、挙兵をそそのかしたのである。クーデターは、清盛が熊野詣に出かけた隙をついて行われ、急ぎ熊野から取って返した清盛が、幽閉されていた後白河院と二条帝を奪還し、京六波羅の自邸に保護したことで、勝敗はその手中に握られ、勝利を得た清盛は時代の寵児となった。平治の乱は源平が明確に相対したはじめての武力衝突であり、一族の命運を賭けた闘いであった。以後平家は急速にのし上がり、武力を背景に独裁政権を樹立するに至る。没落した源氏は義朝の幼い息子たちが再び兵を挙げるその日まで、長い忍従の日々を強いられることとなった。

⑮藤原惟方（これかた）　⑯信西（しんぜい）　⑰二条帝（にじょうてい）　⑱藤原信頼（のぶより）　⑲平経盛（つねもり）（少年期）　⑳平清盛（きよもり）

㉑平教盛（のりもり）（少年期）　㉒池禅尼（いけのぜんに）　㉓源義朝（よしとも）　㉔源頼朝（よりとも）（少年期）　㉕平重盛（しげもり）　㉖源義平（よしひら）

第二部　栄華　常磐木の巻

常磐（常盤とも書く）は、その美貌によって運命に翻弄された、平家物語中屈指のヒロインである。もと九条院の雑仕女で、源義朝の愛妾となる。平治の乱により義朝は敗死し、今若・乙若・牛若（後の源義経）の3人の幼な子を連れて身を隠すが捕えられ、三人の遺児の助命を嘆願し、引き換えに平清盛にその身を委ねたという。後に一条（藤原）長成に再縁し、歴史の表舞台から姿を消している。吉川英治『新・平家物語』では、平治の乱の前夜に不安におののき、乱後、清盛に身を任す間際には悩みが渦巻き、かよわさを感じさせる一面、強靭な母性を併せ持つ人物像が描かれている。常磐をめぐる物語が、後世の絵画や演劇など、幅広い文芸の素材となっているのは、その憐れさが広く人々の共感を呼んだからであろう。

㉗富蔵（とみぞう）　㉘常磐（ときわ）と三人の子　㉙朱鼻伴卜（あけはなのばんぼく）　㉚時子（ときこ）

石船の巻

『平家物語』巻一「妓王」に描かれた妓王と仏御前の悲劇は、憐れさを誘う物語として名高い。吉川英治『新・平家物語』では、少女明日香が、白拍子の世界に飛び込み、妓王（祇王とも書く）となる運命をになって登場する。平清盛の弟忠度の想い人として将来を誓い合う仲となったが、京西八条の清盛邸を訪れたことが運命の岐路となり、清盛に見初められ、寵愛を一身に受ける身となる。しかし、清盛の前に現れた白拍子、仏御前の舞を見るようとりなしたことが仇になり、清盛はたちまち仏に心を移してしまう。無常を感じた妓王は母や妹とともに出家し、嵯峨に侘び住まいして念仏の日々を過ごしていた。その草庵のもとへ、もう一人の若い尼が加わった。清盛の栄華の門を去ってきた仏御前であった。

㉛平清盛（きよもり）　㉜平忠度（ただのり）　㉝㉟㊲妓王（ぎおう）　㉞㊱㊳仏（ほとけ）　※入口角ケース　㊴迦葉（かよう）

コラム　徹の部屋

「渋谷区川本喜八郎人形ギャラリー」は今年（2017年）で開館5周年を迎えました。熱心に御覧くださる各位の御支援に対し、当初から企画に携わる一人として深謝申しあげます。「三国志」の人形は、川本先生が晩年に区からの依頼を受けて新たに制作したものですが、長逝によってその作業が未完となったのは痛恨の極みです（NHKの番組で使用されたものは、長野県飯田市「川本喜八郎人形美術館」で見ることができます）。一方「平家物語」の人形は、NHKの放送で実際に使われ、役を演じきった面々です。このたび、吉川英治記念館のお許しを得て、番組の原作である吉川英治「新・平家物語」の章題に沿うかたちで、4年程度をかけて、区が所蔵する人形ほぼ全てを展示する予定です（前回の展示がストーリー冒頭の場面でしたので、今回はそれに続く二回目となります）。会場内のアンケートで、御意見御要望をお寄せいただければ幸いに存じます。

解説・監修：平井　徹（慶應義塾大学講師）